

雨のあとには

臨時休業期間も1週間が過ぎようとしています。みなさん、規則正しい生活はできていますか？ 学習にはしっかり取り組んでいますか？ また新しい1週間が始まります。計画的に、自分に必要なことを考えて取り組みましょう。

さて、先生には3人の娘がいます。そのうちの次女は先月、3年間通った幼稚園を卒園しました。みなさんの卒業式がそうであったように、先生の娘の卒園式も、やはり例年通りとはいきませんでした。友達たちやお世話になった先生方とのお別れがあっさりとしたものになってしまったことに対し、何も思うことがなかったわけではありません。しかし、この式を行うにあたり、幼稚園の先生方がどれだけ必死に準備してくださったのかと思うと、感謝しなければならないと思いました。式に臨む娘の姿は、親として忘れられないものになりました。

そんな式の中で、娘たち園児がある歌を歌いました。その歌は、新沢としひこさんが作詞を、中川ひろたかさんが作曲をつとめた『にじ』という歌です。

にじ

庭のシャベルが 1日濡れて 雨があがって くしゃみを1つ
雲が流れて 光がさして 見上げてみれば
ラララ 虹が虹が 空に かかって 君の君の 気分も晴れて
きっと明日は いい天気 きっと明日は いい天気



その歌が、やけに心に沁みました。卒園式が行われた3月中旬は、先生自身も、3月の頭から始まった休業措置によって、教師として生徒たちのために直接何もしてあげられない無力感に打ちのめされていた時期でした。また、親としても子供たちの大切な時間を奪われたような気がして、やり場のないモヤモヤを感じていた時期だったような気がします。そんな先生の心に子供たちの歌が届いたとき、少しでも気持ちが軽くなったように感じました。

雨降って地固まる。怪我の功名。失敗は成功のもと。昔からことわざが教えてくれているように、苦しい時期はいつまでも続くわけではありません。そして、その後にはもっといい明日が来る。そんな風に先人たちは教えてくれます。

みなさんも今、この臨時休業期間中に考えるのは、楽しいことばかりではないと思います。先が見えないこと、置かれている状況に対し、不安や不満を抱えてしまうのは当然です。しかし、不安や不満は考えてもなくなればいいばかりか、余計に増してしまうものだと思います。だから先生はみなさんに言いたいです。この後きっと訪れるであろう、楽しい未来を考えてワクワクしませんか？

楽しい未来って、どうしたら来るでしょう。楽観的に、自分勝手に行動すれば良いのでしょうか。先生はそう思いません。それは未来のことを考えていない行動です。みなさんが健康であり、なおかつ、みなさんが大切に思っている人も健康で一緒に過ごせるからこそその楽しい未来ではないでしょうか。

不要不急の外出の自粛など、自分の、そして周りの人の健康・安全を守るために、今は我慢すべきこともあるでしょう。それは仕方のないことです。今は“雨”なんです。でも、やまない雨はありません。長い雨の後には、きっと大きな虹が架かるはず。先生はそう信じているし、みなさんがそう考えてこの苦しい時期を乗り越えてくれることも、信じています。頑張れ、知多中生！！



先月、とても大きな虹がかかりました。見ましたか？